

図書館のオススメ

【一般書】

○恭一郎と七人の叔母

おぼ

小路幸也 著

女系大家族に暮らす更屋恭一郎には、七人の叔母がいる。母を含めた八人姉妹は、みなそれぞれに個性豊かで魅力的。彼女たちを間近で見ていた恭一郎が語る、ちょっと懐かしく新しい家族小説。『読楽』掲載を加筆修正し単行本化。

出版社…徳間書店

分類…Fシ

○スープ日乗

びより

辰巳芳子 著

鎌倉の辰巳邸で開かれているスープ教室で語られたすべての言葉を記録した講義録。四季折々の素材を使ったスープの作り方はもちろん、辰巳芳子が自らの経験から培った食、家族、自然等との向き合い方、人

生哲学を語る。
出版社…文藝春秋
分類…596タ

【絵本】

○まーだだよ

間部香代 作

ひろかわさえこ 絵

こぶたくんがお母さんとかくれんぼ。「まーだだよ」とかくれようとするたびに……。ふたりでの遊びからみんなとの遊びへ。春の光のなかで、こぶたくんの世界がほんの少し広がります。

出版社…鈴木出版

分類…Eマ

【児童書】

○ななこ姉ちゃん

宮崎貞夫 著

翔太が小学1年のとき、6歳年上のななこ姉ちゃんに出会った。両親のいない姉ちゃんは、美容院で働くために町を離れていった。あれから3年、「太鼓祭り」が好きな姉ちゃんが、翔太の町に帰ってきて……。出版社…学研プラス

分類…913ナ

古河図書館

注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「ミスのない正確な仕事を心がけて」

山中建設工業株式会社 香取 恋 さん

住宅や工場、店舗などの建設全般を手がける会社で、見積書や注文書の作成など、経理・事務担当として働く入社3年目の香取さん。

常に心がけているのは仕事の正確さ。小さなことでも間違えてしまうと、お客様や会社に迷惑をかけてしまうので、何度も確認をしてミスをしないように気を付けています。

職場で娘のようにかわいがられている香取さんは「社長や先輩に古民家再生の現場を見せてもらったり、建築図面の見方などをやさしく教えてもらえたりするので、事務以外の仕事も覚えることができ、毎日仕事が楽しい」と笑顔で話してくれました。

友達は進学を機に市外に行ってしまった

が、地元の会社に就職し、社会人として経験を積んだことで、「冷静に物事を判断できるようになり、この会社で働くことができると本当に良かった」と振り返ります。

「地元若くは若い人が集える場がもっと増えて、市外に出た友達が古河に帰りたいなど思えるにぎやかな街になってもらいたい」と語る恋には、古河市の将来像がしっかりと映っていました。

■プロフィール

読書が趣味で文庫本であればすぐ読み終わってしまう速読の持ち主。

20歳・谷貝在住。

